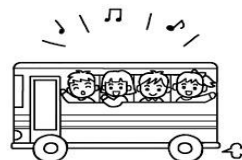


# 守破離の守

みんながATGで自主・自律  
白石市立白石中学校  
令和3年5月10日(月)

## 次は「野外活動」…蔵王自然の家



### 1 ねらい

- (1) 集団活動を通して、規則正しい生活や自律性・協調性を育てる。
- (2) 級友との関わりの中で、他の人のよさを認め、互いに認め合い切磋琢磨していこうとする姿勢を育てる。
- (3) 学校生活を通してこれまでに身に付けたことを確認し、今後の学校生活での課題を共有する。

### 2 期 日・・・令和3年6月24日(木) 1日

### 3 活動内容

- (1) スコアオリエンテーリング(グループ活動)
- (2) 壁掛けづくり(グループ内個人活動)
- (3) 狐が森ハイキング(学級・学年活動)



※新型コロナウイルス感染拡大防止を考え、上記のような内容になりそうです。正式な計画書ができましたら、参加申込書を添付してご案内いたします。また、校納金とは別に参加費用を現金で徴収させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



## 『守破離(しゅぱい)』

「守破離」という言葉は、日本の伝統芸能、武道の世界で広く使われているものです。その道を極めるための成長段階を示した言葉で、道を極める成長段階は、文字通り守・破・離の三つの段階に分けられます。

**守**・・・ひたすら師の教えを守り、多くの話を聞き、師の行動を見習って、師の行動を自分のものへとします。

**破**・・・言葉通り、既存の概念を破ることです。疑問解決のために、師の教えを守るだけでなく独自の工夫を重ね、師の教えにはなかった方法などを試していきます。

**離**・・・この段階は、師のもとを離れていきます。破と違うのは「一切のこだわりを捨て、自由に、思うままに考え、自然に身を置いて行えば、言わば合理の極致としておのずから至芸の境地に至る」離は言わば理想の段階(自分オリジナルの完成)です。

これを中学校3年間にあてはめてみれば、1年生の1年間はまさに『守』の段階と考えられます。まずは、親・先輩・先生方の話に耳を傾け、十分に聞き入れて実行するという1年間にしてほしいです。初めのうちは中学校生活で分からないことが多いので、「守」という行動になりますが、慣れてきた6月以降から徐々に自己判断が甘くなることがよく見られます。楽な方向に流されること無く、辛いことでもこの1年間は教えを守り、やり抜いてほしいです。そうして身についた多様な力を2年生からの生活で発揮して行ってほしいものです。いろいろな人の話に耳を傾け、自分の成長のために「良い」と思われることにどんどん挑戦して行ってほしいです。